

氏名 福本洸太郎

法科大学院等の在籍年次 2L

*このレポートは主としてこれからインターンシップに行くことを考えている人達に情報提供を行うことを目的とするものです。以下の項目について適宜行数を増やしながらかき込んでいって下さい。文字数及び頁数に制限はありません。

*このレポートは、記名で法学研究科のウェブサイトに掲載されます。もし氏名掲載を希望しない場合には、その旨をお知らせ下さい。

*重要情報についてはできる限り具体的に記載して下さい。また、後輩の方達に向けた率直なアドバイスをお願いいたします。

1 受入事務所と滞在期間

TNY国際法律事務所 1 か月間

2 事務所の業務・構成・勤務条件及びインターンシップの内容等

業務：主にタイの日系企業の抱えるトラブルの解決やその予防

構成：日本人3名、タイ人7名

勤務条件：9時00分～17時30分

インターンシップの内容：マレーシアへの事務所旅行、証拠や契約書の英訳、タイの法令・判例の調査検討、役所・裁判所の見学、セミナーへの参加等

3 宿舎及びその他の生活環境について

・全体的な環境

中心部は都会で、生活で不便と思うことはほとんどありません。コンビニが至る所であって何でも揃えられます。

タイ料理はおいしいです。基本的に辛いですが、辛くないのも多くあります。屋台のご飯や果物を食べてお腹を壊すことはありませんでした。タイ料理に比べると高いですが日本料理屋も結構あるので安心です。

治安も良いです。怖い思いをすることは一度もありませんでした。

暑いです。2月でも日本の真夏並みです。建物の中は冷房がよく効いています。

コンセントは日本の形のものが使えます。

スマホはシムフリーにして、現地でツーリストシムを使うのがいいと思います。

・事務所周辺の環境

都会です。BTS（高架鉄道）の駅から徒歩5分ぐらいで便利なところにあります。コンビニも屋台もタイ料理屋も日本料理屋も近くにあります。

・滞在先について

事務所からBTSで2駅のところの駅前のアパートを借りました。BTSは時刻表がありませんが、数分おきにきて、2駅5分ぐらいだと思います。徒歩だと25分ぐらいです。

部屋には、トイレ、シャワー、冷蔵庫、テレビ、ベッド、布団、まくら、クローゼット等の生活に必要な物は備え付けられていました。

アパートの1階にセブンイレブン、コインランドリー、クリーニング店がある。アパートの真裏には屋台が集まった食堂があります。

とても便利だったし、入居から退去まで特にトラブルはありませんでした。

4 出発に向けた準備等について

英語の勉強とタイの法律については少し勉強したが、テスト期間ともかぶっていたのであまりできませんでした。

生活面は、現地の友人に「何も心配することはない」と言われていたものの不安で、ガイドブックやネットの情報でできる限り準備しましたが、実際に現地に行くとコンビニやスーパーで何でもそろうのであまり困ることはありませんでした。しかし、備えあれば憂いなしといえますし、到着した次の日から働くことになるので、しっかり準備していく方がいいと思います。

5 インターンシップに要した費用

家賃4万円、飛行機代8万円（タイ⇄関空、タイ⇄マレーシア）

その他生活費等8万円（食費や生活必需品の他、お土産代、現地での観光やマレーシアでの事務所旅行宿泊費なども含む）

合計約20万円

6 これからインターンに行く人達へのアドバイス等

海外に行くのは初めてだったのですが、タイは何も困ることはなかったです。英語はできなくても何とかありますが、できればできるほど幅が広がるのでしっかり勉強した方がいいと思います。

7 インターンシップの有用性等に関する評価及び感想

タイ法を扱いながら仕事をする上で、法制度、社会の仕組みについて、日本との違いを感じる一方、例えば判例を理解しようとするときには、ロースクールで勉強していることを活かせる場面も多々ありました。同じ部分はもちろん理解しやすいし、異なる部分も日本との比較によりタイの特徴をつかむことができます。このような経験を通じて、日本の法律を知っているということが海外でどのように役立つかを体感できたと思います。

その他、日本語が通じないという環境での生活や、タイにいる日本人の方とお話しする機会を通して感じることはたくさんありました。

まさに百聞は一見に如かず、をしみじみと感じた一ヶ月でした。海外に興味がある人もない人も、いい経験になると思います。